

項目	説明	
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	局所進行食道癌における、炎症・栄養マーカーと短期・長期成績との関連
	研究目的	血清アルブミン、CRP、好中球数、リンパ球数、単球数、コレステロールなどの炎症・栄養マーカーとそれらを用いた neutrophil-to-lymphocyte ratio (NLR)、lymphocyte-to-monocyte ratio (LMR) や the C-reactive protein-to-albumin ratio (CAR) などの比率、またさらにそれらをスコア化した the prognostic nutritional index (PNI)、the Japanese modified Glasgow prognostic score (mGPS)、the controlling nutritional status (CONUT) や the Naples prognostic core (NPS) などのマーカーは、食道癌においては、短期・長期成績としての有用性が報告されている。一方で、術前化学療法は全身性炎症反応や栄養状態に影響を与えることが報告されているが、これらの炎症・栄養マーカーと短期長期成績との関連について、術前化学療法を施行した局所進行食道癌における報告は少ない。これらの炎症・栄養マーカーが予後因子となれば、治療強化対象を同定し、治療の層別化を図ることで治療成績の向上につながるものと考えられる。
	研究対象者	2011年1月から2020年3月までに当院で食道癌に対して術前化学療法後に手術を施行した約250例を対象とする。
	研究期間	西暦 2020年6月3日 ~ 西暦 2025年3月31日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)	<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物(尿・便) <input type="checkbox"/> その他(記載して下さい) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録	
試料・情報の 管理について の責任者	当センター 研究責任者	大島貴
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診療科/部局等	消化器外科
	共同研究の場合、共同研究機関および各施設での研究責任者	なし